俺の酒／私の酒
オリジナルブレンド酒
純米大吟醸

世界でたった一つの純米大吟醸をご自身でお作り下さい

ご存知、当グループのオリジナル清酒「猩々」。
その3種の大吟醸はそれぞれの個性により、皆様に愛されております。
この3つの個性を、お客様がブレンダーとなり、世界でただ一つの「俺の酒」「私の酒」として
瓶詰めし、お名前をラベルに入れさせて頂く企画をご用意しました。
この異なる味わいの大吟醸がブレンドによってお互いの良さを引き出し、
単一品種では 表せない、お客様だけのオリジナル大吟醸となって誕生する……。
この喜びを心ゆくまでご堪能下さい。

山田錦
兵庫県加西市・特A米

大正12年に兵庫県立農業試験場にて「山田穂」「短稈渡船」を人工交配させて誕生した酒造好適米。昭和11年に「山田錦」と名付けられ兵庫県の推奨品種となる。その後、他の地域でも栽培されているが全国の生産量の８割を兵庫県産が占め、中でも 三木市・加東市・加西市などの一部は特A地区に指定されており、酒造好適米の中では最高級品種として取引されている。

五百万石
福井県大野市・1等米

昭和13年に新潟県農業試験場にて「菊水」「新200号」を人工交配させて誕生し、昭和32年に「五百万石」と名付けられ、優良品種として登録された酒造好適米。新潟県の米生産量が五百万石を突破した事を記念しこの名前がつけられた。
現在では新潟、北陸地方を中心として、酒造好適米の中では最も多く栽培されている。

備前雄町
岡山県岡山市・1等米

発見は安政6年（1859年）にさかのぼる。岡山市雄町在住の「岸本甚造」が珍しい品種の稲2本を譲り受け栽培し、慶應2年（1866年）、自分の土地に実ったこの新種に「二本草」と名付ける。その後、雄町に良い酒米があるとの噂が広まり、分けて欲しいとの希望が殺到、それから岡山県南部をはじめ当地一帯で栽培されるようになり、米の名前も町の名前を取って「雄町」と名付けられた。「山田錦」「五百万石」などをはじめ、現存する酒造好適米の2／3の品種がこの「雄町」の系統を引き継いでいる。

各米を50％精米して造られた純米大吟醸をお好みでブレンド

ラベルのお名前の筆文字は１枚１枚を手書きにて作成致します。複数のご注文を頂いた場合でも、若干の文字風合いが異なります。
もとよりブレンドもオリジナル。本当に全てが世界でただ一つの「俺の酒・私の酒」となります！

「私の酒」または「俺の酒」と、「酒」の文字の落款(らっかん)を押印した状態で、お名前の部分には何も書かずに空白の状態でお渡しする事もできます。
お客様ご自身でお好きな文字を入れて頂くことによりオリジナリティ溢れる１本に仕上げる事ができます。